

科目名	三重を知ろうII (フィールドワーク) Exploring Mie Prefecture II		担当教員 (研究室番号)	森下 直紀 (508) 安部 彰 (505) 大平 肇子 (104) 中北 裕子 (404) 専任教員全員		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	2年次前期	科目区分	総合科目		選択区分	必修	単位数(時間)	1(15)	授業形態	演習	科目等履修生	否
											オープンクラス	否
科目目的	三重県で生活する人々の営みや、多様な生活の場を理解するための知識、技術を主体的な学習により修得する。											
ディプロマ・ポリシー (DP)	主要なDP	E 地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。(思考・判断)										
	関連するDP	C 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。(技能・表現)										
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 三重県に住む人々の暮らしに関心を持ち、人々との出会いを通して、その人々の暮らしを理解する。 2. 生活の基盤を作る人々の役割、課題を理解する。 3. チームで課題に取り組むことを通して、自己の役割を遂行する。 											
成績評価方法(基準)	平常点 (30%)、発表会における成果 (40%)、レポート課題 (30%)											
再試験の有無と基準等	再試験は実施しないが、やむを得ない事由がある場合は、レポート課題の提出時期に柔軟性を持たせることで対応する。											
教科書	授業時に適宜紹介する。											
参考書等	授業時に適宜紹介する。											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	三重県に暮らす人々と近くで触れ合う貴重な機会です。安全にフィールドワークができるよう入念な準備と計画を立案してください。多くの学びが得られることを期待しています。											
備考												
回	学習項目	学習内容					主担当教員	授業方法				
1回	オリエンテーション 人々の暮らしを理解するための技術の習得	<ul style="list-style-type: none"> ①進め方について概説する。 ②看護師・保健師が地域を学ぶ意義について 					森下他	講義				
2回	三重県の地域特性について	<ul style="list-style-type: none"> ①三重に暮らす人々の生活(衣食住)に関する社会資源、環境衛生、保健、福祉、教育文化、観光等について学習する。 					森下/外部協力者	講義				
3回	フィールドワーク①	<ul style="list-style-type: none"> ・立案した実施計画に基づき、フィールドワークを行う。 					森下他	演習				
4回	フィールドワーク②	<ul style="list-style-type: none"> ・立案した実施計画に基づき、フィールドワークを行う。 					森下他	演習				
5回	フィールドワーク③	<ul style="list-style-type: none"> ・立案した実施計画に基づき、フィールドワークを行う。 					森下他	演習				
6回	地域で暮らす人々と、人々を多様な場を支える人の役割のアセスメント	<ul style="list-style-type: none"> まとめ(発表の準備) 学んだこと(地域の特性、場の概要、経験したこと、人々の役割、活動の意義、他機関との連携、協働の実際、課題等)をまとめて、分かりやすく伝える工夫を行う。 					全員	演習				
7回	まとめ・総括(1限目)	<ul style="list-style-type: none"> まとめ・発表 ・各グループの発表を聞き、ディスカッションを行うことを通し、多様な生活の場について理解を深める。 					全員	演習				
8回	まとめ・総括(2限目)	<ul style="list-style-type: none"> まとめ・発表 ・各グループの発表を聞き、ディスカッションを行うことを通し、多様な生活の場について理解を深める。 					全員	演習				

学 習 課 題	
<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワークを実施する地域は、学生グループで主体的に検討し決定すること。(フィールドワークの例)町おこしNPO、ボランティアグループ、自助グループ、老人クラブ、子ども食堂、外国人コミュニティ、環境衛生施設、道の駅、地域の災害ハザードマップ(避難経路の確認)、美術館、観光施設・文化財施設、歴史・郷土資料館、乳児院、グループホーム等 ・フィールドワーク実施計画は、指定の期日までに担当教員に提出すること ・発表会に用いる資料は、指定の期日までに担当教員に提出すること 	

実務経験を活かした教育の取組